

平成30年 (2018) ～この一年を振り返って～



みなさんにとって平成30年はどんな1年でしたか？広報郡上では、イベントをはじめ、たくさんの出来事を誌面でご紹介してきました。この特集では、平成30年の郡上市の主な出来事をふり返ります。なお、この記事は、平成30年12月15日現在までの行事などから選定したものです。

②より良質な水を安全に給水 —高鷲北部統合簡易水道完成—



①白銀の地で繰り広げられた熱戦！ —第67回全国高等学校スキー大会 クロスカントリー種目—



④歴史文化資産を次世代へ伝えるために —郡上市歴史資料館完成—



③市の産業・経済の振興を一層促進 —郡上市産業プラザ完成と産業支援センター設立—



⑥世界農業遺産「清流長良川の鮎」の魅力を発信 —清流長良川あゆパーク・道の駅 白山文化の里長滝完成—



⑤スポーツツーリズムを推進し、「観光立市郡上」の実現を目指して —まん真ん中広場人工芝生化完成—



①「第67回全国高等学校スキー大会」のクロスカントリー競技が開催され、『光り輝け舞い上がれ高山郡上の雪とともに』のスローガンのもとに、熱戦が繰り広げられました（2月5日～2月8日）。

②平成24年度から事業を進めてきた簡易水道整備事業が完成し、ひるがの、西洞、上野の3つの自治会区域に、より良質な水を安全に給水できるようになりました（3月19日）。

③「郡上市産業プラザ」が完成し、竣工式典が行われました（3月29日）。また、当施設内に「郡上市産業支援センター」が設立され、郡上の産業振興に向けての業務を開始しました（4月10日）。

④平成28年10月より工事を進めていた「郡上市歴史資料館」の竣工式典が行われました（3月29日）。当資料館は、歴史文化資産の継承、価値の発信等の役割を担っています。

⑤まん真ん中広場の人工芝生化が完成したことを記念し、「まん真ん中広場リニューアルオープンスポーツ交流会」が開催されました（4月29日）。また、8月20日～23日にはタイ・台湾からの少年サッカーチームを招くなど、スポーツ振興の大きな拠点となっています。

⑥「清流長良川あゆパーク」、「道の駅 白山文化の里長滝」が完成し、完成式典が行われました（6月2日）。なお、「清流長良川あゆパーク」はオープン約3カ月で来場者10万人を達成しました（8月26日）。



▲郡上カンパニーの紹介及び4者連携協定調印式 (4/20)



▲国保和良診療所長廣瀬英生医師が「やぶ医者大賞」を受賞 (8/25)



▲明治150年・郡上市歴史資料館開館記念講演会 (11/25)

長良川鉄道GJ8マン トレイン出発式 (3/24)



故さくらももこさんが生み出したキャラクター「GJ8マン」が長良川鉄道車両にラッピングされ、運行しています。惜しくも、さくらももこさんは8月15日にご逝去されました。

水泳 池江璃花子選手 (祖父が郡上出身) 郡上市スポーツアンバサダーに就任 (12/12)



©Hiroyuki Nakamura

⑩東海北陸自動車道4車線化工事に伴い、トンネルや高架橋のウォーキングイベントが実施されました(6月16日・10月13日)。白鳥IC〜高鷲IC間が11月30日から、ひるがの高原SA〜飛騨清見IC間が、12月8日から供用開始となっており、残る高鷲IC〜ひるがの高原SA間は年度内完成を予定しています。

⑧明宝方面隊が快挙！ —「消防感謝祭」 第67回岐阜県消防操法大会—



⑦スポーツ国際交流の大きな成果を実感 —コロンビア共和国ホストタウン登録—



⑨大規模な自然災害の爪痕 — 7月豪雨・台風21号 —



⑩東海北陸自動車道4車線化一部供用開始 — 白鳥IC〜高鷲IC間等 —



⑦スポーツリズムを推進している中で、東京2020年オリンピック・パラリンピックの7人制ラグビー競技におけるコロンビア共和国のホストタウンに登録されました(6月29日)。登録を契機にユースオリンピック女子7人制ラグビーコロンビア代表チームが合宿地として市を訪れ、市内の学校や団体との交流が行われました(9月10日〜9月19日)。

⑧市内での開催が20年ぶりとなった「岐阜県消防操法大会」で、明宝方面隊が優秀賞(5位)を獲得しました。この成績は、郡上の消防史の中で最も優秀なものとなりました(8月5日)。

⑨「7月豪雨」及び「台風21号」により、自然災害の恐ろしさを印象づける年となりました。「7月豪雨」では、岐阜県で初めて大雨特別警報が発表され、高鷲町ひるがのや、白鳥町長滝で、千ミリを超える記録的な雨量が観測されました。「台風21号」では、暴風による倒木等の影響により停電が発生し、1週間以上続いた地域があつたなど、住民の生活に大きな影響をもたらしました。